

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 西日本鉄道株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 9031 URL <https://www.nishitetsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 林田 浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・CS推進部広報課長 (氏名) 藏田 隆秀 (TEL) 092-734-1217  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	303,749	△19.9	18,320	△7.0	18,623	△11.2	16,649	19.9
2023年3月期第3四半期	379,115	25.9	19,699	202.2	20,962	193.9	13,885	172.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 26,681百万円( 8.2%) 2023年3月期第3四半期 24,650百万円( 375.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	211.40	210.95
2023年3月期第3四半期	176.22	175.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	710,595	223,539	30.5
2023年3月期	685,795	201,881	28.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 216,658百万円 2023年3月期 194,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2024年3月期	—	17.50	—		
2024年3月期(予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	418,300	△15.4	23,000	△12.0	20,800	△25.5	17,000	△7.4	215.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	79,360,186株	2023年3月期	79,360,186株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	695,389株	2023年3月期	530,573株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	78,758,701株	2023年3月期3Q	78,792,708株

(注) 自己株式数については、役員向け株式給付信託に残存する当社株式 (2024年3月期3Q : 410,569株、2023年3月期 : 243,225株) を含めて記載しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
営業収益	379,115	303,749	△75,366	△19.9%
営業利益	19,699	18,320	△1,378	△7.0%
経常利益	20,962	18,623	△2,339	△11.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,885	16,649	2,764	19.9%

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、運輸業やレジャー・サービス業で新型コロナウイルス感染症の5類移行等によって社会・経済活動の正常化が進み需要が回復したことなどにより増収となった一方、物流業における国際物流事業で輸送需要の低迷による輸出入取扱高の減少等により3,037億4千9百万円（前年同期比 19.9%減）となり、営業利益は183億2千万円（前年同期比 7.0%減）となりました。

経常利益は、為替差益の減少などにより186億2千3百万円（前年同期比 11.2%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、西新パレス等の売却による固定資産売却益の計上などにより166億4千9百万円（前年同期比 19.9%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

第1四半期連結会計期間の期首に、吸収合併を伴う連結子会社の組織再編を実施し、一部連結子会社において、セグメントの区分を変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益又は営業損失(△)			
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
運輸業	53,329	57,786	4,457	8.4%	254	2,733	2,478	973.6%
不動産業	47,805	53,561	5,755	12.0%	4,151	6,500	2,349	56.6%
流通業	52,491	54,089	1,597	3.0%	22	992	969	—
物流業	194,746	103,449	△91,296	△46.9%	15,445	4,040	△11,404	△73.8%
レジャー・サービス業	22,825	32,889	10,063	44.1%	△495	3,766	4,262	—
小計	371,198	301,776	△69,422	△18.7%	19,378	18,033	△1,344	△6.9%
その他	21,220	20,795	△424	△2.0%	692	952	260	37.7%
調整額	△13,303	△18,822	△5,518	—	△370	△665	△294	—
連結	379,115	303,749	△75,366	△19.9%	19,699	18,320	△1,378	△7.0%

**①運輸業**

鉄道事業及びバス事業では、需要の回復による旅客人員の増加や鉄道事業における鉄道駅バリアフリー料金制度を適用したことなどにより増収となりました。その結果、運輸業の営業収益は577億8千6百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は27億3千3百万円（前年同期比 973.6%増）となりました。

なお、旅客人員は鉄道事業で7.1%増（前年同期比）、バス事業（乗合）で5.7%増（前年同期比）となりました。

**②不動産業**

賃貸事業では、ホテル事業の経営体制変更に伴うグループ内賃貸収入（セグメント間取引）の増加や商業施設の賃貸収入が回復したことなどにより増収となりました。また、住宅事業では、分譲マンション「マークネクスト鳥飼」等を販売したことなどにより増収となりました。これらの結果、不動産業の営業収益は535億6千1百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は65億円（前年同期比56.6%増）となりました。

なお、分譲販売区画数は393区画（前年同期比58区画減）となりました。

**③流通業**

ストア事業では、前期に開業した新規店舗の寄与や仕入価格高騰による販売価格への転嫁が進んだことなどにより増収となりました。その結果、流通業の営業収益は540億8千9百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は9億9千2百万円（前年同期は営業利益2千2百万円）となりました。

**④物流業**

国際物流事業では、輸送需要の低迷による輸出入取扱高の減少等により減収となりました。その結果、物流業の営業収益は1,034億4千9百万円（前年同期比46.9%減）、営業利益は40億4千万円（前年同期比73.8%減）となりました。

国際貨物取扱高は、航空輸出で29.0%減（前年同期比）、航空輸入で16.2%減（前年同期比）、海運輸出で6.9%減（前年同期比）、海運輸入で8.1%減（前年同期比）となりました。

**⑤レジャー・サービス業**

ホテル事業では、需要の回復による稼働率及び客室単価の上昇や「西鉄ホテルクルーム博多祇園 櫛田神社前」の開業(2023年4月)などにより増収となりました。その結果、レジャー・サービス業の営業収益は328億8千9百万円（前年同期比44.1%増）、営業利益は37億6千6百万円（前年同期は営業損失4億9千5百万円）となりました。

**⑥その他**

建設関連事業で完成工事高が減少したことなどにより、その他の営業収益は207億9千5百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は、車両整備関連事業で受注が増加したことなどにより、9億5千2百万円（前年同期比37.7%増）となりました。

(セグメント別損益概況)

(単位:百万円)

	営業収益				営業利益又は営業損失(△)			
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)
運輸業	53,329	57,786	4,457	8.4	254	2,733	2,478	973.6
鉄道事業	14,428	16,231	1,803	12.5	950	2,103	1,153	121.4
バス事業	36,477	39,241	2,763	7.6	△719	766	1,486	-
(バス事業実質)※1	(33,856)	(36,724)	(2,868)	(8.5)	-	-	-	-
他	8,419	8,719	300	3.6	△29	△77	△48	-
調整額	△5,996	△6,406	△410	-	53	△59	△113	-
不動産業	47,805	53,561	5,755	12.0	4,151	6,500	2,349	56.6
賃貸事業	18,695	23,522	4,826	25.8	3,587	5,448	1,861	51.9
住宅事業	23,018	23,440	421	1.8	343	963	619	180.3
他	9,376	9,711	335	3.6	258	247	△10	△3.9
調整額	△3,284	△3,113	171	-	△37	△159	△121	-
流通業	52,491	54,089	1,597	3.0	22	992	969	-
ストア事業	48,687	50,010	1,322	2.7	122	880	757	616.9
生活雑貨販売業	3,805	4,079	273	7.2	64	175	110	172.1
調整額	△1	△0	1	-	△164	△63	101	-
物流業	194,746	103,449	△91,296	△46.9	15,445	4,040	△11,404	△73.8
国際物流事業	208,212	108,079	△100,132	△48.1	15,494	4,125	△11,369	△73.4
国内物流事業	7,813	7,969	156	2.0	91	123	31	35.0
調整額	△21,279	△12,599	8,679	-	△140	△207	△67	-
レジャー・サービス業	22,825	32,889	10,063	44.1	△495	3,766	4,262	-
ホテル事業	19,057	19,145	87	0.5	△1,627	1,863	3,491	-
(ホテル事業実質)※2	(11,258)	(19,128)	(7,870)	(69.9)	-	-	-	-
旅行事業	1,839	2,299	460	25.0	140	492	351	250.1
娯楽事業	3,188	3,665	476	15.0	727	938	211	29.1
他	7,380	8,681	1,300	17.6	222	532	310	139.6
調整額	△8,641	△902	7,738	-	41	△61	△103	-
小計	371,198	301,776	△69,422	△18.7	19,378	18,033	△1,344	△6.9
その他	21,220	20,795	△424	△2.0	692	952	260	37.7
調整額	△13,303	△18,822	△5,518	-	△370	△665	△294	-
連結	379,115	303,749	△75,366	△19.9	19,699	18,320	△1,378	△7.0

※1 バス事業の営業収益は内部取引を除くと8.5%の増となります。

※2 ホテル事業の営業収益は内部取引を除くと69.9%の増となります。

(数量等)

## ①鉄道旅客人員・旅客収入(運輸業)

	単位	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	72,636	77,817	5,181	7.1
定期外	千人	29,582	32,933	3,351	11.3
定期	千人	43,054	44,884	1,830	4.3
旅客収入	百万円	13,732	15,478	1,745	12.7
定期外	百万円	8,011	9,379	1,368	17.1
定期	百万円	5,721	6,098	377	6.6

## ②乗合バス旅客人員・旅客収入(運輸業)

	単位	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	158,685	167,703	9,018	5.7
定期外	千人	89,808	99,021	9,213	10.3
定期	千人	68,877	68,682	△ 195	△ 0.3
旅客収入	百万円	29,829	32,277	2,447	8.2
定期外	百万円	21,725	24,240	2,515	11.6
定期	百万円	8,104	8,036	△ 68	△ 0.8

## ③分譲販売区画数(不動産業)

	単位	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
分譲販売区画数	区画	451	393	△ 58	△ 12.9
マンション	戸	343	301	△ 42	△ 12.2
戸建	区画	97	86	△ 11	△ 11.3
リノベーション	戸	11	6	△ 5	△ 45.5

## ④国際貨物取扱高(物流業)

	単位	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
航空輸出	千トン	99	70	△ 28	△ 29.0
航空輸入	千件	284	238	△ 46	△ 16.2
海運輸出	千TEU	79	73	△ 5	△ 6.9
海運輸入	千TEU	106	98	△ 8	△ 8.1

## ⑤国内宿泊主体型ホテル客室単価、稼働率、Rev PAR(レジャー・サービス業)

	単位	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
客室単価	円	8,333 (8,333)	11,423 (11,414)	3,090 (3,081)	37.1 (37.0)
稼働率	%	69.0 (69.0)	78.6 (77.9)	9.6P (8.9P)	-
Rev PAR	円	5,753 (5,753)	8,980 (8,886)	3,227 (3,133)	56.1 (54.5)

( )内は、既存ホテル数値:当期および前期のいずれにも営業していたホテルを対象としています。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間末	増減
資産合計	685,795	710,595	24,800
負債合計	483,913	487,056	3,142
純資産合計	201,881	223,539	21,657
有利子負債	334,875	324,042	△10,832

(注)有利子負債は、借入金 + 社債により算出しています。

資産は、受取手形、売掛金及び契約資産や現金及び預金が減少した一方、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ248億円増加し、7,105億9千5百万円となりました。

負債は、有利子負債が減少した一方、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ31億4千2百万円増加し、4,870億5千6百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ216億5千7百万円増加し、2,235億3千9百万円となりました。



## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び各事業セグメントの今後の見通しを踏まえ、2023年11月10日公表の内容から変更しています。

営業収益は、物流業における国際物流事業での輸出入取扱高の減少などにより、前回予想を下回る見込みです。

営業利益は、運輸業やレジャー・サービス業での需要の増加や、不動産業における住宅事業での粗利率の高い物件の販売の増加などにより、前回予想を上回る見込みです。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、持分法による投資損益が改善することなどにより、前回予想を上回る見込みです。

(単位：百万円)

	2024年3月期予想 (前回公表値)	2024年3月期予想	増減額	増減率
営業収益	425,300	418,300	△7,000	△1.6%
営業利益	20,400	23,000	2,600	12.7%
経常利益	16,900	20,800	3,900	23.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,800	17,000	3,200	23.2%

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2024年3月期予想 (前回公表値)	2024年3月期 予想	増減額	増減率	2024年3月期予想 (前回公表値)	2024年3月期 予想	増減額	増減率
運輸業	76,900	77,600	700	0.9%	2,600	3,300	700	26.9%
不動産業	85,800	85,400	△400	△0.5%	9,000	10,000	1,000	11.1%
流通業	70,900	70,900	—	—	600	900	300	50.0%
物流業	142,500	134,600	△7,900	△5.5%	5,300	4,400	△900	△17.0%
レジャー・サービス業	42,600	43,800	1,200	2.8%	2,900	4,000	1,100	37.9%
小計	418,700	412,300	△6,400	△1.5%	20,400	22,600	2,200	10.8%
その他	30,500	30,100	△400	△1.3%	1,000	1,300	300	30.0%
調整額	△23,900	△24,100	△200	—	△1,000	△900	100	—
連結	425,300	418,300	△7,000	△1.6%	20,400	23,000	2,600	12.7%

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,796	63,211
受取手形、売掛金及び契約資産	59,546	44,830
販売土地及び建物	63,898	72,116
商品及び製品	3,971	4,603
仕掛品	237	701
原材料及び貯蔵品	2,176	2,310
その他	17,383	16,764
貸倒引当金	△268	△266
流動資産合計	219,742	204,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	190,327	190,269
機械装置及び運搬具（純額）	12,616	13,422
土地	130,871	137,814
建設仮勘定	29,080	54,682
その他（純額）	10,312	11,037
有形固定資産合計	373,207	407,227
無形固定資産		
のれん	321	332
その他	3,523	3,478
無形固定資産合計	3,844	3,811
投資その他の資産		
投資有価証券	56,163	64,597
退職給付に係る資産	3,787	3,872
繰延税金資産	8,159	3,239
その他	21,207	23,886
貸倒引当金	△317	△310
投資その他の資産合計	89,000	95,285
固定資産合計	466,053	506,323
資産合計	685,795	710,595

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,561	50,827
短期借入金	49,163	49,566
1年内償還予定の社債	7,000	10,000
未払消費税等	1,132	4,785
未払法人税等	2,850	2,455
前受金	5,739	8,844
賞与引当金	6,355	2,793
その他の引当金	340	271
その他	28,282	30,761
流動負債合計	144,426	160,305
固定負債		
社債	145,000	145,000
長期借入金	133,711	119,476
繰延税金負債	109	984
その他の引当金	569	623
退職給付に係る負債	21,967	20,797
長期預り保証金	30,218	31,343
その他	7,910	8,525
固定負債合計	339,486	326,750
負債合計	483,913	487,056
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,157	26,157
資本剰余金	12,608	12,137
利益剰余金	143,194	156,877
自己株式	△1,166	△1,615
株主資本合計	180,794	193,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,182	11,239
繰延ヘッジ損益	△195	55
為替換算調整勘定	5,293	11,062
退職給付に係る調整累計額	718	743
その他の包括利益累計額合計	13,999	23,101
新株予約権	324	296
非支配株主持分	6,763	6,585
純資産合計	201,881	223,539
負債純資産合計	685,795	710,595

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
営業収益	379,115	303,749
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	337,150	263,168
販売費及び一般管理費	22,266	22,260
営業費合計	359,416	285,428
営業利益	19,699	18,320
営業外収益		
受取利息	167	387
受取配当金	1,093	1,067
雑収入	2,403	1,448
営業外収益合計	3,663	2,903
営業外費用		
支払利息	1,654	1,701
持分法による投資損失	551	689
雑支出	194	210
営業外費用合計	2,400	2,600
経常利益	20,962	18,623
特別利益		
固定資産売却益	114	6,627
受託工事金受入額	74,926	3
工事負担金等受入額	472	103
その他	1,411	1,023
特別利益合計	76,925	7,757
特別損失		
固定資産圧縮損	73,648	104
固定資産除却損	2,959	-
減損損失	5	44
その他	-	2
特別損失合計	76,613	152
税金等調整前四半期純利益	21,274	26,228
法人税、住民税及び事業税	4,951	4,383
法人税等調整額	1,286	4,462
法人税等合計	6,238	8,845
四半期純利益	15,035	17,383
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,150	733
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,885	16,649

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	15,035	17,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,572	3,050
繰延ヘッジ損益	△14	△3
為替換算調整勘定	4,580	3,497
退職給付に係る調整額	△55	25
持分法適用会社に対する持分相当額	3,532	2,728
その他の包括利益合計	9,614	9,298
四半期包括利益	24,650	26,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,274	25,751
非支配株主に係る四半期包括利益	1,376	930

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・ サービス業	計			
営業収益	53,329	47,805	52,491	194,746	22,825	371,198	21,220	△13,303	379,115
セグメント利益 又は損失(△)	254	4,151	22	15,445	△495	19,378	692	△370	19,699

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業及び金属リサイクル事業を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△370百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理費△597百万円及びセグメント間取引消去額226百万円です。

3. 上記のセグメント情報は、連結子会社の組織再編に伴い変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・ サービス業	計			
営業収益	57,786	53,561	54,089	103,449	32,889	301,776	20,795	△18,822	303,749
セグメント利益	2,733	6,500	992	4,040	3,766	18,033	952	△665	18,320

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業及び金属リサイクル事業を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△665百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理費△832百万円及びセグメント間取引消去額166百万円です。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首に、グループ経営の更なる効率化を図るため、「不動産業」の西鉄ビルマネージメント(株)は「その他」の西鉄電設工業(株)を吸収合併しました。この組織再編に伴い、従来西鉄電設工業(株)が行っていた事業は「その他」から「不動産業」へ変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

## (重要な後発事象)

当社は、2024年1月15日付で当社の関連会社であるNNR・MC空港運営株式会社（以下、JV会社）に対して、貸出コミットメント契約に基づく2,445百万円の貸付を実行しました。

当社は、JV会社を通じて間接的に株式を保有している福岡国際空港株式会社（以下、FIAC）について持分法を適用しており、FIACが計上した純損失のうち、当社に帰属する部分について、持分法によるJV会社の投資価額がゼロになるところまで投資の額を減額し「持分法による投資損失」として認識しています。

当該貸出コミットメント契約に基づく貸付金は、実質的に投資と同様の性格を有するため、当社の貸付実行時には、FIACが計上した純損失のうち、当社が追加で負担する額を貸付金額の範囲内で認識することになり、当社は第4四半期連結累計期間において、持分法による投資損失2,445百万円を営業外費用に計上する予定です。

なお、当該金額はJV会社、FIACの経営成績等により変動する可能性があります。

また、本件による影響額については、2024年3月期の通期連結業績予想に織り込み済みです。